



レポートを作成して**Unified Manager**にインポートする

OnCommand Unified Manager 9.5

NetApp
October 23, 2024

目次

レポートを作成してUnified Managerにインポートする	1
作業を開始する前に	1
このタスクについて	1
MySQL Connector/Jをダウンロードしてインストールする	1
データベースユーザを作成しています	1
Eclipse BIRT (Business Intelligence and Reporting Tools) のダウンロード	2
BIRTを使用したプロジェクトの作成	3
BIRTを使用した新しいレポートの作成	3
BIRTを使用したJDBCデータソースの作成	3
BIRTを使用した新しいMySQLデータセットの作成	4
レポートのインポート	5

レポートを作成してUnified Managerにインポートする

Unified Managerではレポート作成機能を利用できますが、環境に固有の新しいレポートの作成が必要になる場合があります。Eclipse BIRT (Business Intelligence and Reporting Tools) を使用して新しいレポートを作成し、そのレポートをUnified Managerにインポートして表示し、管理することができます。

作業を開始する前に

OnCommand 管理者のロールが必要です。

MySQL Connector/Jをダウンロードしてインストールしておく必要がありますレポートをUnified Managerに連結するJDBCデータソースを作成するために、mysql-connector-java-5.1.32-bin.jarファイルの場所を確認しておく必要があります。

このタスクについて

レポートの作成の詳細については、Eclipse BIRTのWebサイトを参照してください。

MySQL Connector/Jをダウンロードしてインストールする

MySQL Connector/Jドライバをダウンロードして特定の場所にインストールする必要があります。これらのドライバを使用して、レポートをUnified Managerに連結するデータソースを作成することができます。

このタスクについて

MySQL Connector/Jバージョン5.1以降を使用する必要があります。

手順

1. MySQL Connector/Jドライバをからダウンロードします dev.mysql.com。
2. をインストールします .jar 後で参照できるように、ファイルとその場所をメモします。

たとえば、をインストールします .jar ファイル `C:\Program Files\MySQL\MySQL Connector J\mysql-connector-java-5.1.32-bin.jar`。

データベースユーザを作成しています

Workflow Automation と Unified Manager の間の接続をサポートする場合や、データベースビューにアクセスする場合は、まず Unified Manager Web UI で、Integration Schema ロールまたは Report Schema ロールを持つデータベースユーザを作成する必要があります。

作業を開始する前に

OnCommand 管理者のロールが必要です。

このタスクについて

データベースユーザは、Workflow Automation との統合およびレポート固有のデータベースビューへのアクセスを行うことができます。データベースユーザは、Unified Manager Web UI やメンテナンスコンソールにはアクセスできず、API 呼び出しも実行できません。

手順

1. ツールバーで、をクリックします  *をクリックし、*管理>*ユーザー*をクリックします。
2. [* Management/Users* (管理/ユーザー*)]ページで、[*追加]をクリックします。
3. ユーザーの追加* (Add User) ダイアログボックスの*タイプ (* Type) ドロップダウンリストで*データベースユーザー (* Database User *) を選択します。
4. データベースユーザの名前とパスワードを入力します。
5. [* 役割 *] ドロップダウンリストで、適切な役割を選択します。

実行する作業	このロールを選択します
Unified Manager を Workflow Automation に接続しています	統合スキーマ
レポートおよびその他のデータベースビューにアクセスする	レポートスキーマ

6. [追加 (Add)] をクリックします。

Eclipse BIRT (Business Intelligence and Reporting Tools) のダウンロード

レポートを作成してUnified Managerにインポートするには、まずEclipse BIRT (Business Intelligence and Reporting Tools) をダウンロードする必要があります。

手順

1. BIRTソフトウェアをからダウンロードします <http://download.eclipse.org/birt/downloads/>。

完了後

BIRTソフトウェアをダウンロードしたら、ダウンロードした.zipファイルを展開する必要があります。

BIRTを使用したプロジェクトの作成

Unified Managerにインポートするレポートを作成する前に、BIRTを使用してプロジェクトを作成する必要があります。

作業を開始する前に

BIRTの.zipファイルをダウンロードして展開しておく必要があります。

手順

1. Eclipseインターフェイスから* File > New > Project *を選択します。
2. [ビジネスインテリジェンスおよびレポートツール]フォルダを展開し、[レポートプロジェクト]を選択して、[次へ*]をクリックします。
3. プロジェクト名を入力し、*完了*をクリックします。

BIRTを使用した新しいレポートの作成

Eclipse BIRT (Business Intelligence and Reporting Tools) プラグインを使用して新しいレポートを作成することができます。Unified Managerの既存のレポートが環境のニーズを満たしていない場合は、新しいレポートの作成が必要になることがあります。

作業を開始する前に

BIRTをダウンロードして展開しておく必要があります。

BIRTを使用してプロジェクトを作成しておく必要があります。

手順

1. BIRTインターフェイスから、* File > New > Report *を選択します。
2. [新規レポート* (New Report *)]ダイアログボックスで、以前に作成したプロジェクトフォルダーと同じプロジェクトフォルダーを選択します。

別のプロジェクトフォルダを選択すると、Unified Managerのレポート処理を使用できなくなります。
3. レポートファイル名を入力し、*次へ*をクリックします。
4. レポートタイプを選択し、*完了*をクリックします。

BIRTを使用したJDBCデータソースの作成

BIRTを使用して新しいレポートを作成したら、データソースを作成してレポートをUnified Managerに連結する必要があります。

作業を開始する前に

BIRTを使用してレポートを作成しておく必要があります。

MySQL Connector/Jをダウンロードしてインストールしておく必要があります

Report Schemaロールを持つデータベースユーザを作成しておく必要があります。

手順

1. Eclipseで、* Data Explorer > Data Sources > New Data Source *を選択します。
2. 次のリストで、データソースタイプから*作成を選択します。*
3. 「* JDBCデータソース*」を選択し、「次へ」をクリックします。
4. [新規JDBCデータソースプロファイル*]ダイアログボックスで、[com.mysql.jdbc.Driver(v5.1)]を選択します。
 - a. MySQLドライバが表示されない場合は、* Manage Drivers*をクリックします。
 - b. [JDBCドライバの管理]ダイアログボックスで、[Add]をクリックします。
 - c. MySQL Connector/Jの場所を参照します。 .jar ファイルがインストールされました。次にファイルを選択してください。
 - d. [OK] をクリックします。

MySQLドライバを表示して選択できるようになります。

5. Unified Managerインスタンスの完全修飾ホスト名またはIPアドレスを適切な形式で入力します。

住所タイプ	の形式で入力し
IPv4	jdbc:mysql://xx.xx.xx.xx:3306/ocum_report
IPv6	jdbc:mysql://address=(protocol=tcp) (host=xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx) (port=3306) /ocum_report

6. データベースユーザのユーザ名を入力し、パスワードを入力して、[終了]をクリックします。

BIRTを使用した新しいMySQLデータセットの作成

データソースを作成したら、レポートの出力結果を作成するためのMySQLデータセットを作成する必要があります。データセットの作成後に出力タイプを編集することもできます。

作業を開始する前に

BIRTを使用してJDBCデータソースを作成しておく必要があります。

MySQL Connector/Jをダウンロードしてインストールしておく必要があります

Unified ManagerでReport Schemaロールを持つデータベースユーザを作成しておく必要があります。

手順

1. Eclipse *からワークスペースを選択します。
2. * Data Explorer > Data Sets > New Data Set *を選択します。
3. [新しいデータセット*]ダイアログボックスで、以前に作成したデータソース、データセットタイプ、データセット名を選択し、[次へ*]をクリックします。
4. 使用可能な項目を使用してSQLクエリテキストを定義するか、クエリを手動で入力して、「完了」をクリックします。
5. 結果のプレビュー*をクリックしてSQLクエリを確認し、OK *をクリックします。
6. [データセットの編集]ダイアログボックスで、必要に応じて出力列を定義し、[OK]をクリックします。
7. 新しく作成したレポートにアイテムをドラッグします。

完了後

新しく作成したレポートをUnified Managerにインポートします。

レポートのインポート

Unified Manager以外で作成したレポートをインポートして保存し、そのレポートファイルをUnified Managerで使用することができます。

作業を開始する前に

OnCommand 管理者のロールが必要です。

インポートを計画しているレポートがUnified Managerでサポートされていることを確認する必要があります。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、*レポート*をクリックし、*レポートのインポート*をクリックします。
2. [レポートのインポート*]ダイアログボックスで、[*参照]をクリックしてインポートするファイルを選択し、レポートの名前と簡単な概要を入力します。
3. [* インポート *]をクリックします。

レポートをインポートできない場合は、ログファイルで問題の原因となっているエラーを確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。